



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月27日

上場会社名 岩井コスモホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8707 URL http://www.iwaicosmo-hd.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 沖津 嘉昭
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 COO (氏名) 笹川 貴生 TEL 06-6229-2800
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年11月27日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	9,809	32.7	9,618	33.5	2,127	798.2	2,332	422.1	2,086	232.1
29年3月期第2四半期	7,393	△28.3	7,202	△28.4	236	△89.6	446	△81.7	628	△71.8

(注) 包括利益30年3月期第2四半期 3,157百万円 (－%) 29年3月期第2四半期 △66百万円 (－%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	88.81	—
29年3月期第2四半期	26.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	195,563	45,507	23.3
29年3月期	183,657	43,172	23.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 45,507百万円 29年3月期 43,172百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	20.00	—	35.00	55.00
30年3月期	—	20.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は、定款において期末日及び第2四半期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(注) 当社グループの業績は、経済情勢や市場環境の変動により大きく影響を受ける状況にあり、業績予想は開示しておりません。しかし、四半期毎の業績については、合理的な見積りが可能となった時点で開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年3月期2Q	25,012,800株	29年3月期	25,012,800株
30年3月期2Q	1,523,557株	29年3月期	1,523,557株
30年3月期2Q	23,489,243株	29年3月期2Q	23,489,243株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループの業績は、経済情勢や市場環境の変動により大きく影響を受ける状況にあり、業績予想は開示しておりません。しかし、四半期毎の業績・配当予想額については、合理的な見積りが可能となった時点で開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. 補足情報	9
(1) 受入手数料	9
(2) トレーディング損益	9
(3) 自己資本規制比率	10
(4) 連結損益計算書の四半期推移	11

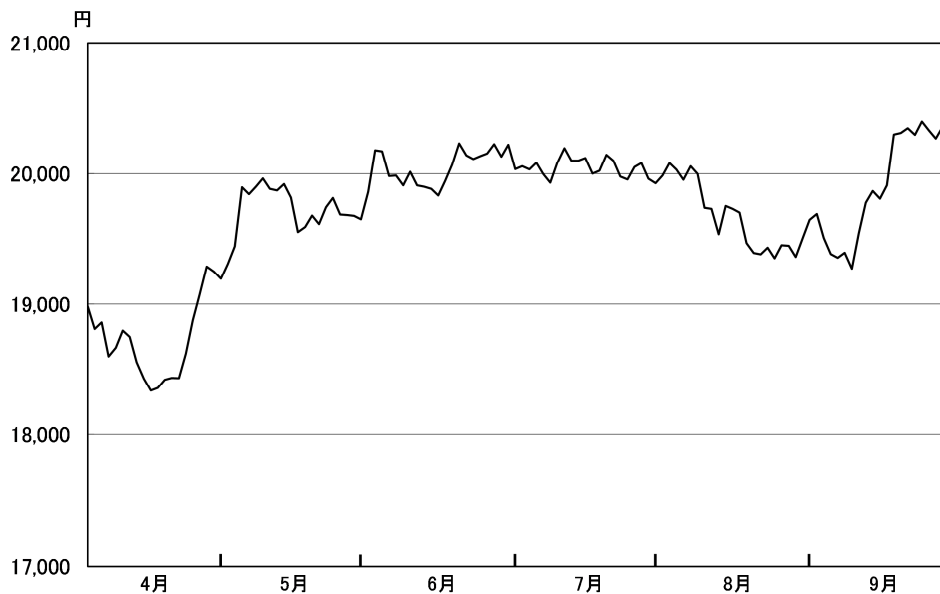
1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日～9月30日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景として、設備投資や個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、欧米の政治リスクに対する警戒感やシリア、北朝鮮による地政学的リスクの高まりなど、海外要因を中心に先行き不透明な状況が続きました。

国内株式市場は、米国によるシリア攻撃や北朝鮮のミサイル発射などの地政学的リスクの高まりを背景に下落して始まり、日経平均株価（終値）は、4月中旬に18,300円台となりました。その後は、フランス大統領選挙の結果を受けて欧州の政治リスクが後退したことに加え、国内における堅調な経済指標を好感して、日経平均株価（終値）は上昇し、6月2日には、およそ1年半ぶりに2万円の大台を回復しました。以降、8月上旬までは、円高ドル安の進行と安倍政権の内閣支持率低下が嫌気されたものの、良好な企業業績が支えとなり、日経平均株価は2万円近辺で膠着した状態が続きました。その後、米国と北朝鮮の軍事的緊張への警戒感や米国のトランプ政権の政策運営に対する先行き不透明感の高まりから、株価は調整色を強めましたが、9月中旬には、北朝鮮リスクの後退及び米国の利上げ観測に伴う円安ドル高の進行を好感して、再び上昇基調となりました。また、下旬にかけて、衆議院の解散が急浮上し、政策期待への高まりから、9月29日の日経平均株価（終値）は20,356円28銭（前期末比7.7%上昇）と、期中の高値圏で取引を終了しました。

平成30年3月期第2四半期累計期間の日経平均株価（終値）の推移



当社グループの中核事業を担う岩井コスモ証券株式会社では、お客様の資産運用をサポートするうえで、収益機会の提供やリスク分散の観点から、海外金融商品を運用資産の一つに組み入れて頂くことが重要と捉え、対面取引、コールセンター取引を中心に、好調が続く米国株式に関する投資情報の提供を強化しました。また、中長期の資産運用の提案として、投資信託では、ニッセイAI関連株式ファンドや当社グループの専用投信であるインベスコジャパン成長株・夢ファンド（愛称：未来のたまご）の販売に注力し、外国債券においては、新たにロシア・ルーブル建債券を取り扱うなど、成長期待が大きいテーマ、地域等を投資対象とする金融商品の販売を積極化しました。一方、インターネット取引では、8月より、信用取引の日計り決済（新規建て日に反対売買による決済）に係る売買手数料及び金利・貸株料を無料とする新サービス「デイトレフリー」の取り扱いを開始し、取引を積極的におこなうアクティブトレーダーの獲得に注力いたしました。これらの取り組みに加え、日米の株価上昇など良好な市場環境もあり、当社グループの営業収益は98億9百万円（対前年同期比32.7%増加）、純営業収益は96億18百万円（同33.5%増加）となりました。一方、販売費・一般管理費は、74億90百万円（同7.5%増加）となり、経常利益は23億32百万円（同422.1%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億86百万円（同232.1%増加）と、それぞれ前年同期実績を大幅に上回ることができました。

主な収益と費用の概況は、以下のとおりであります。

(受入手数料)

受入手数料は50億76百万円（対前年同期比0.5%増加）となりました。内訳は以下のとおりであります。

①委託手数料

委託手数料は、国内株式を中心に31億41百万円（対前年同期比0.7%減少）となりました。

②引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料

株式の引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料は41百万円（対前年同期比235.6%増加）となりました。一方、債券の引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料は14百万円（同4.6%増加）となり、引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料全体では55百万円（同114.3%増加）となりました。

③募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料

募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料は、投資信託の販売手数料を中心に8億55百万円（対前年同期比7.2%減少）となりました。

④その他の受入手数料

その他の受入手数料は、投資信託の信託報酬を中心に10億24百万円（対前年同期比9.3%増加）となりました。

(トレーディング損益)

株券等トレーディング損益は、米国株式のマーケットメイク方式による売買を中心に25億35百万円の利益（対前年同期比477.7%増加）となりました。一方、債券等トレーディング損益は、外国債券の販売を中心に8億32百万円の利益（同5.9%増加）となり、その他のトレーディング損益18百万円の損失（前年同期は27百万円の利益）を含めた合計のトレーディング損益は33億49百万円の利益（対前年同期比167.5%増加）となりました。

(金融収支)

金融収益は、信用取引収益を中心に13億84百万円（対前年同期比26.7%増加）となりました。一方、金融費用は1億91百万円（同0.1%減少）となり、差し引き金融収支は11億93百万円（同32.3%増加）となりました。

(販売費・一般管理費)

販売費・一般管理費は、業績連動の賞与をはじめとする変動費の増加を主因として74億90百万円（対前年同期比7.5%増加）となりました。

(営業外収支)

営業外収支は、受取配当金を中心に2億4百万円の利益（対前年同期比2.6%減少）となりました。

(特別損益)

特別損益は、金融商品取引責任準備金戻入の計上により18百万円の利益（対前年同期比91.1%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は1,955億63百万円(対前連結会計年度末比119億5百万円増加)となりました。

流動資産は信用取引貸付金の減少などがあったものの、顧客分別金信託の増加などにより1,828億97百万円(同105億84百万円増加)となりました。固定資産は投資有価証券の時価が上昇したことによる増加などにより126億65百万円(同13億21百万円増加)となりました。

一方、負債合計は1,500億55百万円(同95億70百万円増加)となりました。

流動負債は信用取引負債の減少などがあったものの、預り金の増加などにより1,445億24百万円(同93億44百万円増加)となりました。固定負債は繰延税金負債の増加などにより50億82百万円(同2億44百万円増加)となりました。

純資産合計は455億7百万円(同23億35百万円増加)となり、自己資本比率は23.3%(前連結会計年度末は23.5%)となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績は、経済情勢や市場環境の変動により大きく影響を受ける状況にあり、業績・配当予想は開示しておりません。しかし、四半期毎の業績については、合理的な見積りが可能となった時点で開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	7,534	7,875
預託金	79,229	93,203
顧客分別金信託	79,000	93,000
その他の預託金	229	203
トレーディング商品	1,650	2,753
商品有価証券等	1,647	2,748
デリバティブ取引	2	5
約定見返勘定	94	—
信用取引資産	68,137	63,456
信用取引貸付金	64,857	59,785
信用取引借証券担保金	3,279	3,671
有価証券担保貸付金	1,113	1,020
借入有価証券担保金	1,113	1,020
立替金	555	751
短期差入保証金	11,230	11,144
未収収益	1,263	1,350
繰延税金資産	614	676
その他の流動資産	895	670
貸倒引当金	△6	△6
流動資産計	172,313	182,897
固定資産		
有形固定資産	1,828	1,725
建物	244	233
器具備品	1,024	928
土地	541	541
その他	17	21
無形固定資産	952	846
ソフトウェア	948	844
その他	3	2
投資その他の資産	8,563	10,093
投資有価証券	7,816	9,352
長期差入保証金	687	689
その他	291	276
貸倒引当金	△231	△225
固定資産計	11,344	12,665
資産合計	183,657	195,563

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	124	223
商品有価証券等	121	221
デリバティブ取引	3	1
約定見返勘定	—	675
信用取引負債	30,431	25,164
信用取引借入金	18,948	12,493
信用取引貸証券受入金	11,483	12,670
有価証券担保借入金	7,725	8,026
有価証券貸借取引受入金	7,725	8,026
預り金	41,995	51,146
顧客からの預り金	39,147	43,264
その他の預り金	2,847	7,881
受入保証金	47,114	51,028
短期借入金	5,900	5,900
1年内返済予定の長期借入金	450	450
未払法人税等	311	449
賞与引当金	459	721
その他の流動負債	666	738
流動負債計	135,180	144,524
固定負債		
社債	2,000	2,000
長期借入金	900	675
繰延税金負債	1,524	2,005
退職給付に係る負債	75	59
資産除去債務	177	178
その他の固定負債	160	163
固定負債計	4,838	5,082
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	466	447
特別法上の準備金計	466	447
負債合計	140,484	150,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,004	10,004
資本剰余金	4,890	4,890
利益剰余金	26,512	27,776
自己株式	△1,702	△1,702
株主資本合計	39,704	40,968
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,511	4,574
退職給付に係る調整累計額	△43	△35
その他の包括利益累計額合計	3,467	4,539
純資産合計	43,172	45,507
負債・純資産合計	183,657	195,563

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業収益		
受入手数料	5,048	5,076
委託手数料	3,163	3,141
引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘 等の手数料	25	55
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等 の取扱手数料	922	855
その他の受入手数料	937	1,024
トレーディング損益	1,252	3,349
金融収益	1,092	1,384
営業収益計	7,393	9,809
金融費用	191	191
純営業収益	7,202	9,618
販売費・一般管理費	6,965	7,490
取引関係費	1,112	1,190
人件費	3,378	3,761
不動産関係費	737	726
事務費	1,173	1,209
減価償却費	280	299
租税公課	159	190
貸倒引当金繰入額	4	—
その他	119	112
営業利益	236	2,127
営業外収益	218	208
営業外費用	8	3
経常利益	446	2,332
特別利益		
金融商品取引責任準備金戻入	175	18
投資有価証券売却益	36	—
特別利益計	211	18
税金等調整前四半期純利益	657	2,350
法人税、住民税及び事業税	30	313
法人税等調整額	△0	△48
法人税等合計	29	264
四半期純利益	628	2,086
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	628	2,086

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	628	2,086
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△702	1,063
退職給付に係る調整額	8	8
その他の包括利益合計	△694	1,071
四半期包括利益	△66	3,157
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△66	3,157
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 受入手数料

①科目別内訳

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
委託手数料	3,163	3,141
(株券)	(3,018)	(3,070)
(債券)	(0)	(0)
(受益証券)	(143)	(70)
(その他)	(1)	(0)
引受け・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	25	55
(株券)	(12)	(41)
(債券)	(13)	(14)
募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	922	855
その他の受入手数料	937	1,024
合計	5,048	5,076

②商品別内訳

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
株券	3,113	3,193
債券	27	50
受益証券	1,816	1,764
その他	92	67
合計	5,048	5,076

(2) トレーディング損益

(単位：百万円)

	前第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
株券等	438	2,535
債券等	785	832
その他	27	△18
合計	1,252	3,349

(3) 自己資本規制比率 岩井コスモ証券株式会社(単体)

(単位：百万円)

	前第2四半期末 (平成28年9月30日)	当第2四半期末 (平成29年9月30日)	前事業年度末 (平成29年3月31日)
基本的項目 (A)	34,944	37,439	36,021
補完的項目 (B)	806	756	681
その他有価証券評価差額金(評価益)	334	302	208
金融商品取引責任準備金	466	447	466
一般貸倒引当金	5	6	6
控除資産 (C)	3,980	3,800	3,789
固定化されていない自己資本 (A) + (B) - (C) (D)	31,770	34,395	32,913
リスク相当額 (E)	5,067	5,213	5,043
市場リスク相当額	299	284	172
取引先リスク相当額	1,295	1,489	1,546
基礎的リスク相当額	3,472	3,438	3,324
自己資本規制比率 (%) (D) / (E) × 100	626.8	659.8	652.5

(4) 連結損益計算書の四半期推移

(単位：百万円)

	前第2四半期 (28. 7. 1 28. 9. 30)	前第3四半期 (28.10. 1 28.12.31)	前第4四半期 (29. 1. 1 29. 3. 31)	当第1四半期 (29. 4. 1 29. 6. 30)	当第2四半期 (29. 7. 1 29. 9. 30)
営業収益					
受入手数料	2,379	2,925	2,567	2,573	2,503
委託手数料	1,472	1,897	1,634	1,630	1,511
引受け・売出し・特定投資家 向け売付け勧誘等の手数料	10	27	79	10	44
募集・売出し・特定投資家向 け売付け勧誘等の取扱手数料	434	547	375	423	431
その他の受入手数料	462	453	478	508	515
トレーディング損益	615	780	1,244	1,646	1,702
金融収益	534	585	648	682	702
営業収益計	3,529	4,292	4,460	4,902	4,907
金融費用	98	107	97	88	102
純営業収益	3,430	4,184	4,362	4,813	4,805
販売費・一般管理費	3,446	3,551	3,653	3,772	3,718
取引関係費	537	588	636	594	596
人件費	1,681	1,738	1,761	1,894	1,866
不動産関係費	370	361	362	370	355
事務費	588	592	589	600	608
減価償却費	141	146	147	148	150
租税公課	66	76	102	103	87
貸倒引当金繰入額	4	△3	△0	—	—
その他の他	56	50	54	59	52
営業利益又は営業損失(△)	△15	633	709	1,041	1,086
営業外収益	25	126	56	156	51
営業外費用	7	3	47	0	3
経常利益	2	756	718	1,197	1,134
特別利益	20	290	815	18	—
特別損失	—	206	48	—	—
税金等調整前四半期純利益	22	840	1,485	1,216	1,134
法人税、住民税及び事業税	9	58	233	102	211
法人税等調整額	△0	△0	△676	113	△162
四半期純利益	13	782	1,928	1,000	1,085
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	13	782	1,928	1,000	1,085